岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名	砂防指定地内河川 大広川 砂防メンテナンス事業に伴う業務委託
事　業　・　工　事　名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	B3-3	調査位置	広島県呉市広大広			北緯	34° 15’ 11.2938″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			調査期間	令和4年12月 3日～ 令和4年12月 6日	東経	132° 36’ 58.3776″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 104.00m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 90°東 180°南 270°西	地盤勾配	0° 鉛直 水平 0° 90°
総削孔長	7.00m	使用機種	試錐機	東邦DO-C			
			エンジン	ヤンマーNF110M	ポンプ	東邦BC-3C	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日	ルジオン試験 ルジオン値	ルジオン試験 P－Q図	原位置試験	削孔状況 室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
1				粗石コンクリート	淡青灰								堤体コンクリート GL-0.50m～0.55m，空隙 GL-1.00～2.00m，所々で亀裂や空隙あり GL-2.00m～3.00m，亀裂多い GL-3.25～3.35m，空隙 GL3.45～3.60m空隙 GL4.00～4.40m空隙					3.00	12/3							
2																		密度圧縮								
3																		3.90								
4	99.20	4.80																								
5	98.00	6.00		流紋岩	暗青褐	w4	h3	D	V	d	D	CL 0 100	土砂～礫状コアで採取される 岩芯まで風化している コアは全体的にやせている 部分的に岩芯を残す														
6																				66／ケーシング	ダブルコアチューブ／DB					
7	97.00	7.00		流紋岩	暗青褐	w3	h3	C	IV	c	CL	CL 0 100	礫状～岩片状コアで採取される 割れ目沿いに風化が進み、ハンマーの打撃により容易に割れる 一部は砕ける 軟質なものは手で割ることができる コア肌が粗い 土軟硬区分：軟岩I						12/6		66／泥水	ダブルコアチューブ／08					
8																										
9																										
10																										
11																										
12																										